



「農を通じた働き場の場づくり」を目指し、農業という産業（ビジネス）の中で、障害者や福祉がプラスとなるユニバーサルデザインによる農業経営を展開。作業分解の視点により、作業のやり方、治具や機械化を工夫するとともに障害者の個性にあわせて農作業形態、農園で働くことができる仕組みを変更。特例子会社や福祉施設と連携、作業委託をすることで労働力を確保し、障害者や高齢者の雇用拡大に一助。

## 基本情報

- 所在地：静岡県浜松市
- 団体名：京丸園株式会社
- 取組パターン：連携型
- 選定表彰：全国優良認定農業者農林水産省経営局長賞2003年、第33回日本農業賞特別賞2004年、障害者関係功労者内閣総理大臣賞2007年、一般財団法人日本GAP協会GAP普及大賞2018年、令和元年度（第58回）農林水産祭天皇杯2019年他
- 主力商品・イベント：「姫ねぎ」、「姫みつば」、「姫ちんげん」他



## 取組の概要

- 経営規模拡大のため、求人を出したところ障害者が来られて、1週間の農業体験を受け入れたことがきっかけとなり、1996年より障害者自立支援センターと連携し、雇用及び研修受入を開始。
- 既存のパートが障害者のサポートを行うこととなり、手作業が多い農作業では作業効率が向上し、職場の雰囲気も好転した。
- 農作業及び出荷調製作業に携わる障害者24名を雇用。障害者は、所属従業員が県の障害者就業・生活支援センターにも登録している「心耕部」にも所属。最低賃金に満たない能力の場合は最低賃金の減額の特例許可を得るが、障害者のスキルアップをサポートし、能力に応じて給与を増加させる仕組みをとっている。

京丸園株式会社組織構成 令和3年10月現在



## 体制図

京丸園株式会社（総務・経理事務）、NPOしずおかユニバーサル園芸ネットワーク事務局

水耕部（姫ねぎ・姫みつば・姫ちんげん等の栽培・選別・仕分け・袋詰め）

土耕部（米栽培、さつまいも、ごぼう）

心耕部（水耕部・土耕部で障害者等の実習・研修）

## 連携団体

CTCひなり株式会社

多機能型事業所だんだん

障害者就労支援センターふらっと等

## 取組の成果

- 福祉担当者と相談しながら、作業を分解し「伝わる」作業指示を行っている（「きれいに洗う」ではなく、「スポンジで5回洗う」）。
- 数量カウンター付トレー洗浄機を開発し、誰が行っても同じ精度の作業結果が得られる半自動の機械を導入。ユニバーサルデザインとすることで機械製作費が削減、作業の精度・効率があがることで、作業者の工賃向上に寄与。
- 障害者が行う作業をナビゲーションマップに落としこみ、作業内容を分解して作業を指示。作業をレベル別に分けたナビゲーションマップは、能力向上の指標としても活用され、連携する福祉事業所では訓練メニューとして活用。

所在地 ▶ 〒435-0022 静岡県浜松市南区鶴見町380-1

連絡先 ▶ TEL:053-425-4786 E-mail: kyomaru@ck.tnc.ne.jp

ウェブサイト ▶ <https://kyomaru.net>

# 【取組のプロセス】

1996年～

## きっかけ

経営規模拡大を図るため、求人を出したところ障害者が来て、一週間の職場体験を実施



ユニバーサルデザインの機械開発による作業の標準化

作業	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
1 掃除・草取り	汚れ判断・一人作業	一定作業量可	虫トラレー可		
2 トレー・コンテナ洗い	汚れ判断・一人作業	洗浄機使用可	質・量		
3 段ボール組み立て		作業手順	正確・量		
4 ちんげん菜定植		立作業	正確・量	苗の品質区別	
5 ちんげん菜収穫			刃物使用	正確・箱詰め	品質変化対応
6 庵みつば下葉とり			正確作業	品質変化対応	目標量対応

ナビゲーションマップ



京丸園事例が絵本に



京丸園集合写真

農家の減少  
地域活力の低下

2004年 個人経営から  
法人経営へ移行

2005年 浜松市ユニ  
バーサル園芸研究会  
が設置（事務局：浜  
松市）

2006年 NPOしずお  
かユニバーサル園芸  
ネットワークが設立  
（事務局：京丸園）

2013年～

## JGAPを取得

- 2015年に厚生労働省次世代育成支援認定「くるみん」取得
- 2016年に農業の未来をつくる女性活用経営体100選に認定
- 2017年しずおか農林水産認証取得

2010年 農業・福  
祉・企業連携により  
伊藤忠テクノソ  
リューションズ株  
式会社の特例子会  
社CTCひなり(株)に  
作業委託

## 令和元年度農林水産祭で「多角化部門」天皇杯受賞

- 多様な人たちが活躍できる「ユニバーサル農業」を推進しており、従業員のうち約25%が障害者で年齢層も幅広
- 全国初となる量産芽ねぎの水耕栽培やミニちんげん菜の周年量産、みつばの小型化など、付加価値の高い独自のオリジナルブランド商品開発を行い、収益性を確保

2019年～

## 「笑顔創造」ユニバーサルデザインによる農業経営

- 農業と福祉を融合したユニバーサル農業を核とした健康創造産業を創出
- 多様な人たちの活躍の場面を農業で広めていくために研究・普及活動を行い農業・福祉・企業の連携ビジネスモデルを構築

2021年 特例子会社  
1社、福祉施設3施  
設と作業委託し農  
福連携

今後の  
展望